

# TRAIL

## いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」

第71号 2020年12月18日発行

### いわき市産業振興部

**【全国】GDP は前期の反動で回復するもコロナ前水準には遠い！ 今後は“第3波”次第！**

**【いわき市】今期も“コロナ禍”の影響！ 強まる先行き不透明感！**

**【経済・景気四方山話】人口問題2話**

● “少子化大綱”の確実な実施を求む！

● テレワークで地方人口は増えるか！

【キーワード】人口動態統計、人口動態調査、少子化社会対策大綱、TW 人口の増加、TW の利用形態

#### ■ 全国動向

11/16 発表の今Ⅲ期(7-9月)のGDP速報値(1次速報。右表)では“プラス”

GDP(実質値) 推移					
年	期	四半期	兆円	前期比	年率
19	IV	10-12	529	0%	-1%
20	I	1-3	527	0%	-2%
	II	4-6	484	-8%	-29%
	III	7-9	507	5%	21%

や“回復”が強調されたが、これは誤解を招く。解説すればこうだ。今Ⅲ期のGDP成長率(実質値)は、前期に比べ5%(年率21%)増加し、四半期ぶりにプラス成長となった。特別定額給付金や“Go to トラベル”等の効果やコロナ関連需要による。それでも第Ⅱ期の落ち込み43兆円に対して23兆円を回復したに過ぎない(12/8の2次速報は前期比5%、年率23%)。

同じ期の国の経済・景気の総合判断を示す「月例経済報告」(11月)は、7月から5か月連続して“持ち直しの動き”との判断を継続した(次表)。個人消費や生産の持ち直しの動きを反映したも

#### 目次

全国: GDP は前期の反動で回復するもコロナ前水準には遠い！ 今後は“第3波”次第！

いわき市: 今期も“コロナ禍”の影響！ 強まる先行き不透明感！

経済・景気四方山話: 人口問題2話！

【いわき市の動向】

I 経済・景気調査: 2020年第3四半期(7~9月)

1. 経済の動き(主要部門別・主要経済データ) …… 3
2. 景気の動き(景気動向指数) …… 9

【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き

II 景気ウォッチャー調査: 2020年11月時点 …… 16

のだが、回復の力不足は否めない。先行き、“第3波”による再度の景気急減が懸念される。雇用や所得は遅れて悪化するの

“基調判断”の推移	
月	基調判断
3	厳しい状態
4-5	極めて厳しい状態
6	下げ止まりつつある
7-9	持ち直しの動き

#### ■ いわき市の動向

##### ● 経済・景気調査

“コロナ禍”の影響は今期にも及んでいる(推移は右表)。分野別は以下の通り。

先行きは“第3波”次第。

##### 【需要動向】

大型小売店舗等販売額は巣ごもり需要で微増。自動車、新設住宅は前四半期に

いわき市経済・景気判断の推移				
年	四半期	経済景気の判断	月	号
19	第3: 7-9	長引く“後退局面”！一部に“下降”の兆し！	12	67
20	第4: 10-12	台風等の影響もあり、ほとんどの分野で“弱含み”ないしは、“下げ！”	3	68
	第1: 1-3	“下降”のなか、3月には新型コロナウイルスの影響！今後の悪化に懸念！	6	69
	第2: 4-6	深刻な“コロナ禍”！回復努力に期待！	9	70
	第3: 7-9	今期も“コロナ禍”の影響！強まる先行き不透明感！	12	71

比べ減少幅が半減。建築確認は10四半期ぶりにプラス。入湯税は半減。

##### 【企業動向】

信用保証承諾額が前四半期に引き続き高水準で、新型コロナ関連の資金需要が高まっている。

##### 【雇用動向】

新規求人倍率が11か月ぶりにプラス。雇用保険受給者は依然高水準。雇用環境の改善はまだ。

##### ● 景気ウォッチャー調査(20年11月時点)

現状DIは全業種で上昇。とくに飲食が大きい(右表)。

先行きDIは全体でやや下落。サービスの下落が目立つ。“自由意見”のほどんどはコロナ禍の影響に関するもの。何らかの公的支援を求める声が目立つ。

現状判断DI		
区分	今回	前回差
全業種	49.4	9.2
家計	49.6	5.3
小売	49.0	0.0
飲食	62.5	29.2
サービス	52.4	9.5
住宅	29.2	4.2
企業	39.3	9.3
雇用	67.9	38.7

(産業創出課)

## ■ 経済・景気四方山話：“人口動向”、2話！

### ● “少子化大綱”の確実な実施を求む！

“少子高齢化”は、現下のわが国経済にとって重要な懸案事項である。ここで改めて人口動態統計（厚労省/令和元年12月の確定値）と総務省の人口動態調査で現状を確認すると、以下の2表の“ポイント”で示すような深刻な状況になっている。

人口動態統計（厚労省）：結果のポイント

内容	2019年	前年比
出生率は過去最少	87万人	△5万人
合計特殊出生率は低下	1.36%	△0.06%
死亡率は増加し戦後最多	138万人	2万人
自然増減数は13年連続減少	△52万人	△7万人
婚姻件数は7年振りに増加	60万件	1万人
離婚件数は増加	21万人	0.01万

（注）20年6月公表の概数に修正を加えてもの。20年9月17日公表。

人口動態調査（総務省）：結果のポイント

内容	2020年現在	前年比
総人口は11年連続減少	1億2,589万人	△29万人
生産年齢人口は過去最低	7,471万人	△40万人
高齢人口（65歳以上）は増加	3,608万人	30万人
75歳以上人口は増加	18490千人	515千人

（注）20年10月公表。

以上を受けて国は、今年5月、少子化社会対策大綱（副題：新しい令和の時代にふさわしい少子化対策へ）を閣議決定した。これはおよそ5年間の指針であり、数値目標については現在のところ未確定であるが、確実な達成を望む。

#### 【参考】平成27年度大綱の主要数値目標

子育て支援
- 認可保育園定員等 267万人(234万人)
- 放課後児童クラブ 122万人(94万人)
- 一時預かり事業 延1800か所(291か所)
男女の働き方改革
- 男性配偶者の出産直後休職取得率 80%(-)
- 女性の第1子出産前後の就業継続率 55%(38%)
- 男性の育児休業取得率 13%(2%)
結婚・地域
- 総合的対策実施自治体数 70%以上(14%)
結婚、妊娠、子供・子育てに温かい社会
- 温かい社会実現に向かっていていると考える人の割合 50%(19%)

（注）括弧内の数字は主に2014年時点のもの。一部筆者意訳

### ●テレワークで地方人口は増えるか！

今年6月、東京都の人口が外国人を含めた移動者の集計を始めた平成25年7月以来、初めて1,069人の流出となった。その後、6月は流入したものの、7月、8月、9月、10月は、数千人規模で再び流出している。この要因は、TW人口の増加によるものと考えられる。ちなみに東京圏のTW利用率は、1月6%→3月10%→4・5月25%→6

月17%と増加している（令和2年8月NIRA調査）。この流れが続き、加速すれば、東京圏から地方に人口が流出するが、果たしてTWの今後の進展具合はどうなるのか。

結論を先に言うと、TWは、今後とも進展するものの、①“業種や規模でTWの導入が難しい多くの企業がある、②業績・勤務評価等経営上の未解決部分が残っている、③すべての仕事がTWで代替できない\*1などから、分野・規模によって制約がかかり、今の増勢は鈍化すると思う。

#### TWの利用形態

- ①東京都内企業が地方に設置するTW機能を利用する（新たな拠点、サテライトを含む）
- ②地方にある個人住宅内でTWを使う（TW空間を改修設置、TW設置済み住宅の購入等）、
- ③営利組織が運営するTWを利用（ホテル、カラオケ室等既存施設の転用を含む）
- ④自治体が設置するTW共同利用施設を利用
- ⑤東京都内企業が地方に移転する
- ⑥ワーケーションを行う。

TWの利用形態（上表）によっても動向が違う。

①、②及び③は、今の増勢を東京圏内県が受け皿となっているが、それ以遠の地方にはそれほど及ぶまい。④は、地方が、これから強化すべき分野で、今は少ない。⑤は、パソナグループの淡路島への移転で話題となったが、これに続く企業はそれほど出て来ない。⑥は、今、大きな流れとなっているが、まとまった数量にはならないと思う。

こうみると、TWは、地方への人口流出の切っ掛けをつくってはいるが、まだ、“東京圏一極集中是正には力不足”であり、むしろ“働き方改革”への寄与の方が大きい。従って地方は、東京一極集中の是正のおこぼれを期待するのではなく、コロナ禍以前から増加しつつある地方暮らし志向（移住・定住、農業生活志向）、多地域居住、CCRC（健康高齢者共同居住）等\*2に、地道に取り組むべきであるとする。なお今、緒に就いた“デジタル首都機能移転・首都移転”は期待できると思う。TWを含め今後の進捗を注視したい。

\*1 本誌前月号“TWでも対面機会が不可欠”のほか、他の調査でも同様結果（例えば“ディスカッションはオフィスで行いたい”が70%等）が出ている。

\*2 本誌第51号H27年12月“いわき型移住・定住の推進策及び第64号19年3月“トレイルにみる、今、いわき市に必要な政策”を参照されたい。

（東日本国際大学名誉教授 大川信行）

# I 経済・景気調査：令和2年第Ⅲ四半期（7～9月）

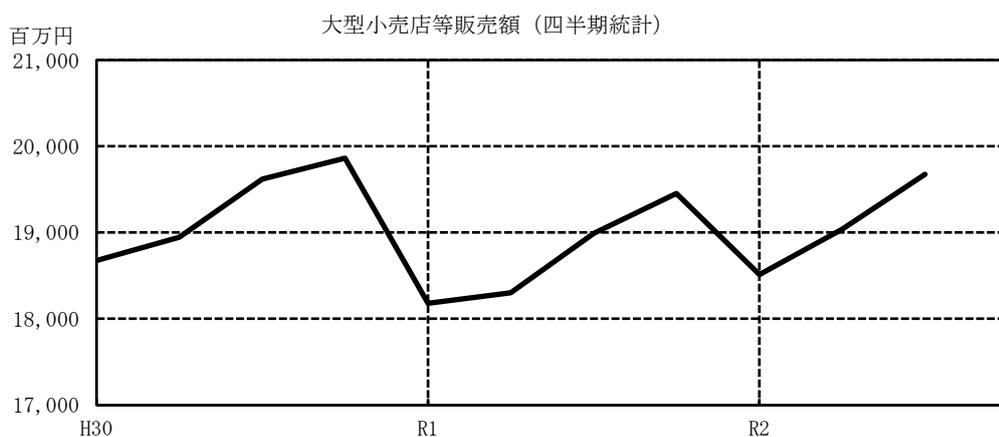
## 1 いわき市の経済の動き

### （1） 主要部門の動向（令和2年第Ⅲ四半期（7～9月）の状況）

#### ① 需要動向

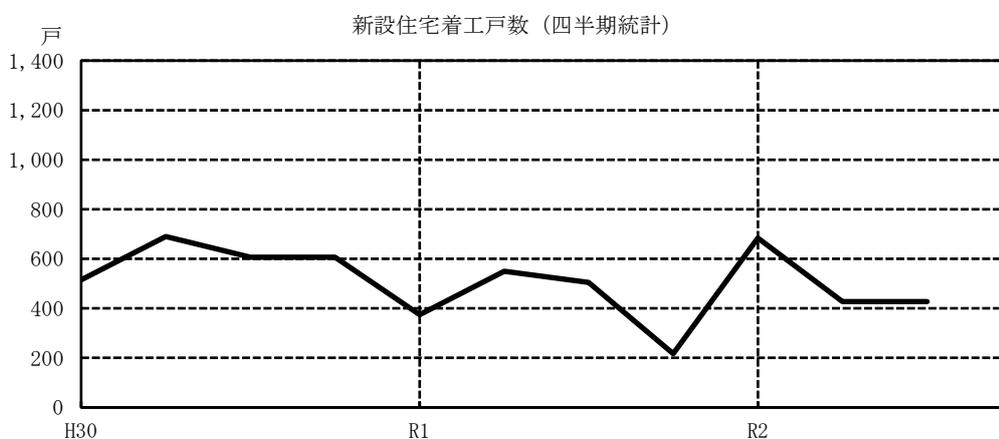
【個人消費】 ○ 第Ⅲ四半期（7～9月）の大型小売店等販売額は約197億円（前年同期比3.6%の増加）となり、3四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 自動車新規登録台数は4,585台（前年同期比12.6%の減少）となり、3四半期連続で前年の水準を下回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は427戸（前年同期比15.4%の減少）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。

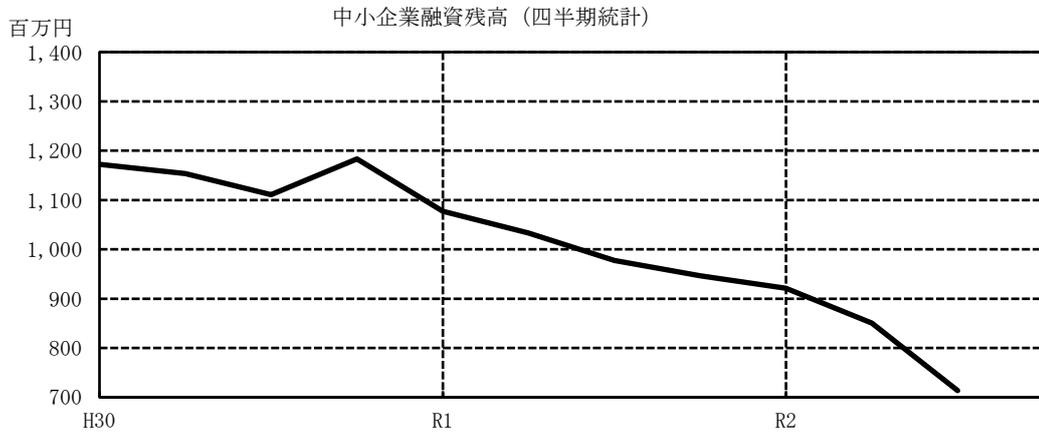
○ 公共工事等受注額は約94億円（前年同期比0.3%の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。



【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、64.3（前年同期比49.9%の低下）となり、5四半期連続で前年の水準を下回った。

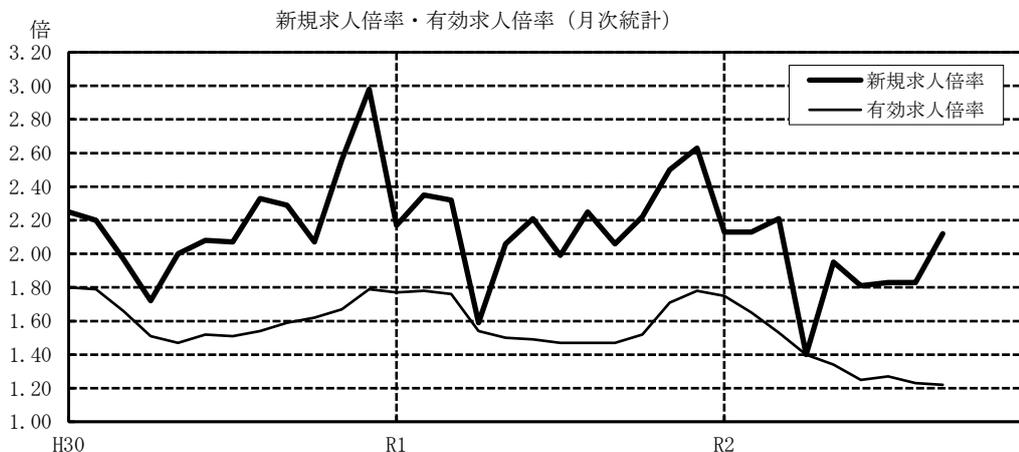
## ② 企業動向

- 【生産活動】** ○ 第Ⅲ四半期（7～9月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約36億円（前年同期比4.4%の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。
- 【企業活動】** ○ いわき市中小企業融資残高は約7.1億円（前年同期比27.0%の減少）となり、7四半期連続で前年の水準を下回った。
- 負債1千万円以上の企業倒産件数は4件（前年同期比100%の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った（悪化した）。



## ③ 雇用情勢

- 【雇 用】** ○ 9月の新規求人倍率は2.12倍（前年同月より0.06ポイントの上昇）となり、11ヵ月振りに前年の水準を上回った。
- 9月の有効求人倍率は1.22倍（前年同月より0.25ポイントの低下）となり、10ヵ月連続で前年の水準を下回った。
- 第Ⅲ四半期（7～9月）の雇用保険受給者実人員は4,558人（前年同期比23.6%の増加(=悪化)）となり6四半期連続で前年の水準を上回った（悪化した）。



(2) 主要経済データ

区分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小売店等販売額	前年同期比	自動車新規登録台数	前年同期比	新設住宅着工戸数	前年同期比	建築確認申請受付件数	前年同期比	公共工事等受注額	前年同期比	観光施設利用者指数	前年同期比	入湯税調定人員	前年同期比
年月	(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)	(H24・四半期平均=100)	(%)	(人)	(%)
【年次統計】														
平成27年	79,769	2.5	20,971	-13.3	3,042	-22.7	1,751	-4.6	48,365	-1.8	427	1.3	763,136	1.4
28年	81,763	2.5	20,034	-4.5	3,420	12.4	1,559	-11.0	49,098	1.5	398	-6.8	706,408	-7.4
29年	79,785	-2.4	20,681	3.2	3,448	0.8	1,467	-5.9	42,827	-12.8	398	0.1	696,264	-1.4
30年	77,103	-3.4	20,332	-1.7	2,417	-29.9	1,292	-11.9	23,677	-44.7	391	-1.8	678,555	-2.5
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	370	-5.4	640,323	-5.6
【四半期統計】														
平成30年 IV	19,863	-3.2	4,817	7.3	606	-29.5	297	-21.8	9,298	-54.8	86.9	0.2	167,059	-7.4
平成31年 I	18,180	-2.7	6,032	-2.9	374	-27.4	299	-10.7	22,010	369.8	76.2	-9.7	166,264	0.7
令和元年 II	18,301	-3.4	4,466	-2.3	550	-20.3	293	-13.3	4,121	61.4	90.4	2.2	150,151	-8.3
III	18,989	-3.2	5,243	10.8	505	-16.7	272	-15.5	9,374	31.3	128.3	-2.3	168,606	-7.7
IV	19,454	-2.1	5,357	11.2	217	-64.2	220	-25.9	9,657	3.9	75.2	-13.5	155,302	-7.0
令和2年 I	18,513	1.8	5,631	-6.6	684	82.9	222	-25.8	13,889	-36.9	56.1	-26.4	161,119	-3.1
II	19,037	4.0	3,347	-25.1	427	-22.4	237	-19.1	7,978	93.6	10.5	-88.4	31,310	-79.1
III	19,677	3.6	4,585	-12.6	427	-15.4	288	5.9	9,350	-0.3	64.3	-49.9	55,549	-67.1
【月次統計】														
平成30年10月	6,178	-4.0	1,633	11.5	213	-39.8	113	-21.5	5,055	-52.7	28.7	18.1	55,498	-5.7
11月	5,950	-3.0	1,751	12.0	146	-54.1	108	-5.3	1,531	-35.4	29.8	-5.8	52,445	-12.4
12月	7,735	-2.8	1,433	-1.9	247	31.4	76	-37.7	2,712	-64.0	28.3	-7.9	59,116	-4.0
平成31年1月	6,165	-1.6	1,749	1.9	115	-49.3	75	-24.2	4,869	198.3	23.6	-6.0	55,513	3.2
2月	5,618	-3.7	1,891	-0.3	147	-5.2	112	0.9	1,542	249.7	21.9	-9.2	50,460	7.3
3月	6,397	-2.7	2,392	-7.9	112	-15.8	112	-10.4	15,599	497.2	30.7	-12.8	60,291	-6.3
4月	6,018	-3.9	1,353	-7.2	145	-56.7	105	0.0	1,182	8.6	27.7	-1.4	51,167	-11.5
令和元年5月	6,157	-3.9	1,478	1.7	89	-53.6	96	-1.0	914	76.8	34.7	7.0	47,762	-18.7
6月	6,126	-2.4	1,635	-1.4	316	93.9	92	-32.4	2,025	113.4	27.9	0.1	51,222	8.7
7月	6,129	-7.3	1,680	6.0	215	-24.0	94	-17.5	2,174	45.1	32.4	-5.3	45,690	-7.4
8月	6,708	-1.2	1,459	9.1	79	-66.1	85	-15.0	2,717	88.2	63.1	2.7	49,648	-7.1
9月	6,152	-1.0	2,104	16.1	211	134.4	93	-13.9	4,483	6.8	32.7	-8.2	73,268	-8.3
10月	5,936	-3.9	1,289	-21.1	143	-32.9	71	-37.2	5,354	5.9	22.2	-22.9	55,266	-0.4
11月	5,961	0.2	2,337	33.5	13	-91.1	65	-39.8	2,534	65.5	26.1	-12.4	47,817	-8.8
12月	7,557	-2.3	1,731	20.8	61	-75.3	84	10.5	1,769	-34.8	26.9	-5.0	52,219	-11.7
令和2年1月	6,043	-2.0	1,640	-6.2	178	54.8	72	-4.0	1,897	-61.0	24.8	5.1	55,217	-0.5
2月	5,916	5.3	1,717	-9.2	368	150.3	73	-34.8	2,501	62.2	22.9	4.8	56,886	12.7
3月	6,554	2.5	2,274	-4.9	138	23.2	77	-31.3	9,492	-39.2	8.3	-73.0	49,016	-18.7
4月	6,185	2.8	1,124	-16.9	165	13.8	80	-23.8	730	-38.2	2.1	-92.4	20,442	-60.0
5月	6,434	4.5	851	-42.4	66	-25.8	66	-31.3	2,246	145.7	0.5	-98.6	7,694	-83.9
6月	6,418	4.8	1,372	-16.1	196	-38.0	91	-1.1	5,002	147.0	7.9	-71.8	3,174	-93.8
7月	6,405	4.5	1,485	-11.6	152	-29.3	94	0.0	3,188	46.6	17.0	-47.6	8,779	-80.8
8月	7,047	5.1	1,243	-14.8	148	87.3	95	11.8	2,668	-1.8	25.9	-58.9	18,273	-63.2
9月	6,225	1.2	1,857	-11.7	127	-39.8	99	6.5	3,494	-22.1	21.4	-34.7	28,497	-61.1
出典:	いわき市産業創出課		いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部		いわき市産業創出課(市内主要観光施設の利用者数を指数化)		いわき市市民税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
 四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分 年 月	企業動向											
	生産活動				企業活動							
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高		小名浜港 輸入通関 実績		いわき 市中小 企業融 資残高		いわき 市中小 企業融 資利率		信用保 証承諾 額		信用保 証協会 代位弁 済	
	(百万円)	前年 同期比 (%)	(百万円)	前年 同期比 (%)	(百万円)	前年 同期比 (%)	(%)	(%p)	(百万円)	前年 同期比 (%)	(百万円)	前年 同期比 (%)
【年次統計】												
平成27年	14,520	3.3	302,516	-18.1	1,429	-16.3	2.20	-	18,390	3.3	378	2.5
28年	14,214	-2.1	224,693	-25.7	1,235	-13.6	2.03	-0.2	17,079	-7.1	608	60.9
29年	14,058	-1.1	319,842	42.3	1,207	-2.3	1.94	-0.1	15,790	-7.5	496	-18.5
30年	13,933	-0.9	378,337	18.3	1,155	-4.3	2.04	0.1	18,640	18.1	602	21.6
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1
【四半期統計】												
平成30年 IV	4,026	-1.4	87,622	-1.3	1,183	1.1	2.00	0.08	5,003	11.0	296	5,619.7
平成31年 I	2,681	-9.9	85,287	-19.6	1,077	-8.1	1.88	-0.21	4,810	1.4	549	550.5
令和元年 II	3,311	0.1	100,669	5.6	1,033	-10.4	2.19	-0.01	5,189	16.0	100	-44.8
III	3,435	-5.2	81,893	-8.3	977	-12.0	2.05	0.18	5,706	29.0	193	377.4
IV	3,471	-13.8	77,445	-11.6	947	-20.0	2.08	0.09	5,430	8.5	122	-58.7
令和2年 I	2,831	5.6	74,638	-12.5	921	-14.5	2.00	0.13	6,310	31.2	243	-55.8
II	3,078	-7.0	89,268	-11.3	851	-17.7	2.20	0.01	27,678	433.4	113	12.2
III	3,587	4.4	82,469	0.7	713	-27.0	2.20	0.15	21,271	272.8	142	-26.2
【月次統計】												
平成30年10月	1,108	-0.5	36,330	30.6	1,380	17.5	2.09	0.37	1,430	-2.5	27	2,695.0
11月	1,133	-2.5	25,298	-0.8	1,073	-8.1	1.85	-0.01	1,404	9.8	103	-
12月	1,784	-1.2	25,994	-26.6	1,097	-6.1	2.05	-0.11	2,169	23.0	166	3,848.9
平成31年1月	944	3.7	34,950	-11.7	1,083	-7.6	1.60	-0.50	1,027	-14.6	72	10,524.4
2月	938	0.0	31,610	-7.4	1,077	-7.6	1.88	-0.33	1,583	5.5	37	107.4
3月	799	-29.1	18,727	-42.1	1,072	-9.2	2.15	0.21	2,200	8.0	440	566.8
4月	1,176	10.2	39,673	29.0	1,050	-9.7	2.16	-0.04	1,469	6.2	0	-100.0
令和元年5月	1,053	-7.2	28,851	-27.5	1,032	-11.0	2.20	0.00	1,756	7.7	96	-
6月	1,082	-2.2	32,145	29.7	1,019	-10.6	2.20	0.00	1,964	34.7	5	-87.3
7月	1,150	-3.8	31,595	-3.4	995	-11.8	2.20	0.43	1,987	26.7	79	-
8月	1,231	-2.2	22,179	10.5	962	-13.6	2.20	0.43	1,663	14.0	22	723.5
9月	1,054	-10.1	28,119	-23.1	975	-10.6	1.75	-0.30	2,056	47.3	92	143.9
10月	1,026	-7.4	20,179	-44.5	956	-30.7	2.20	0.11	1,578	10.4	25	-5.7
11月	1,121	-1.1	31,312	23.8	945	-11.9	2.20	0.35	1,645	17.2	62	-39.2
12月	1,324	-25.8	25,954	-0.2	939	-14.4	1.85	-0.20	2,207	1.8	34	-79.3
令和2年1月	995	5.4	21,821	-37.6	928	-14.4	2.20	0.60	1,588	54.7	14	-80.0
2月	758	-19.2	25,264	-20.1	925	-14.1	1.60	-0.28	1,668	5.4	63	70.3
3月	1,079	35.1	27,553	47.1	910	-15.0	2.20	0.05	3,054	38.8	165	-62.4
4月	970	-17.5	29,469	-25.7	888	-15.4	2.20	0.04	3,832	160.9	49	-
5月	1,039	-1.3	33,087	14.7	868	-15.9	-	-	10,263	484.4	64	-33.2
6月	1,069	-1.2	26,712	-16.9	795	-21.9	-	-	13,582	591.6	0	-100.0
7月	1,225	6.5	29,546	-6.5	740	-25.6	-	-	9,497	377.9	15	-80.9
8月	1,260	2.3	20,951	-5.5	717	-25.5	2.20	0.00	6,376	283.5	0	-100.0
9月	1,102	4.6	31,972	13.7	684	-29.8	2.20	0.45	5,397	162.5	127	38.2
出典：	いわき市中央 卸売市場（水 産）	横浜税関	いわき市産業創出課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） 令和2年5～6月は実績なし。					福島県信用保証協会				

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分	企業動向											
	企業活動		倒産				中小企業DI調査					
	法人市民税調		企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	定額	前年同期比		前年同期比	総額	前年同期比						
年月	(百万円)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】												
平成27年	5,105	5.7	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
28年	4,532	-11.2	8	-	7,538	-	-	-	-	-	-	-
29年	4,610	1.7	9	12.5	2,295	-69.6	-	-	-	-	-	-
30年	5,111	10.9	15	66.7	9,581	317.5	-	-	-	-	-	-
令和元年	4,101	-19.8	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】												
平成30年 IV	1,660	9.2	6	50.0	8,627	768.8	-	-	-	-	-	-
平成31年 I	546	-28.4	4	-	1,174	-	-	-	-	-	-	-
令和元年 II	1,273	-21.1	5	0.0	379	29.8	-	-	-	-	-	-
III	920	-14.5	2	-50.0	37	-94.4	-	-	-	-	-	-
IV	1,363	-17.9	3	-50.0	79	-99.1	-	-	-	-	-	-
令和2年 I	542	-0.7	5	25.0	629	-46.4	-	-	-	-	-	-
II	1,434	12.6	2	-60.0	55	-85.5	-	-	-	-	-	-
III	1,125	22.3	4	100.0	313	745.9	-	-	-	-	-	-
【月次統計】												
平成30年10月	167	19.3	1	0.0	857	4,185.0	-	-	-	-	-	-
11月	1,401	10.0	4	300.0	7,760	2,742.5	-	-	-	-	-	-
12月	92	-12.7	1	-50.0	10	-98.6	2.8	-25.0	-44.4	-54.6	-44.4	-20.6
平成31年1月	156	27.2	1	-	830	-	-	-	-	-	-	-
2月	117	-31.4	1	-	150	-	-	-	-	-	-	-
3月	273	-41.8	2	-	194	-	-11.1	-37.5	-71.4	-46.2	-75.0	-33.3
4月	156	11.3	1	-50.0	55	-71.1	-	-	-	-	-	-
令和元年5月	322	-23.4	1	-50.0	200	376.2	-	-	-	-	-	-
6月	795	-24.5	3	200.0	124	106.7	-30.0	-50.0	-40.0	-62.5	-42.9	-39.6
7月	480	0.1	1	0.0	27	-86.0	-	-	-	-	-	-
8月	352	-29.2	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
9月	88	-11.4	1	0.0	10	-79.6	-34.3	-66.7	-44.4	-50.0	-50.0	-43.6
10月	129	-22.7	2	100.0	56	-93.5	-	-	-	-	-	-
11月	902	-35.6	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
12月	332	259.6	1	0.0	23	130.0	-14.3	-20.0	-11.1	-41.7	10.0	-15.9
令和2年1月	84	-46.5	4	300.0	593	-28.6	-	-	-	-	-	-
2月	147	25.7	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
3月	312	14.2	1	-50.0	36	-81.4	-50.0	-50.0	-33.3	-50.0	-40.0	-46.3
4月	170	8.7	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
5月	301	-6.5	1	0.0	26	-87.0	-	-	-	-	-	-
6月	963	21.1	1	-66.7	29	-76.6	-71.0	-30.0	-45.5	-70.0	-90.6	-64.4
7月	647	34.8	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
8月	345	-1.8	2	-	88	-	-	-	-	-	-	-
9月	133	50.7	2	100.0	225	2,150.0	-66.6	-50.0	-81.8	-41.6	-60.0	-61.7
出典：	いわき市市民税課(法人税割)	東京商工リサーチ(負債総額1,000万円以上)				福島県産業振興センター(前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比(各月末時点)) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査						

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	雇用						その他						
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)				
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	家計動向	企業動向	雇用関連	総合		
年 月	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)					
<b>【年次統計】</b>													
平成27年	2.12	0.04	1.67	0.07	14,087	-8.2	12,186	4.7	-	-	-	-	
28年	2.14	0.02	1.67	0.00	13,934	-1.1	12,184	0.0	-	-	-	-	
29年	2.12	-0.02	1.59	-0.08	14,073	1.0	12,117	-0.5	-	-	-	-	
30年	2.21	0.09	1.62	0.03	13,079	-7.1	10,170	-16.1	-	-	-	-	
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-	
<b>【四半期統計】</b>													
平成30年 IV	-	-	-	-	3,086	-8.1	2,363	-21.8	-	-	-	-	
平成31年 I	-	-	-	-	2,905	-6.1	2,176	-20.5	-	-	-	-	
令和元年 II	-	-	-	-	3,386	0.2	2,250	-11.3	-	-	-	-	
III	-	-	-	-	3,688	4.8	2,485	-1.8	-	-	-	-	
IV	-	-	-	-	3,500	13.4	2,408	1.9	-	-	-	-	
令和2年 I	-	-	-	-	3,570	22.9	2,120	-2.6	-	-	-	-	
II	-	-	-	-	3,830	13.1	1,531	-32.0	-	-	-	-	
III	-	-	-	-	4,558	23.6	2,041	-17.9	-	-	-	-	
<b>【月次統計】</b>													
平成30年10月	2.07	0.03	1.62	0.05	1,114	-8.2	794	-20.5	-	-	-	-	
11月	2.56	0.22	1.67	0.04	990	-10.6	794	-20.8	42.1	52.8	37.5	43.5	
12月	2.98	-0.06	1.79	0.01	982	-5.5	775	-23.9	-	-	-	-	
平成31年1月	2.17	-0.08	1.77	-0.03	1,015	-3.4	720	-20.6	-	-	-	-	
2月	2.35	0.15	1.78	-0.01	942	-5.7	660	-22.1	41.1	37.5	50.0	41.0	
3月	2.32	0.35	1.76	0.10	948	-9.1	797	-19.1	-	-	-	-	
4月	1.59	-0.13	1.54	0.03	1,060	3.1	754	-15.1	-	-	-	-	
令和元年5月	2.06	0.06	1.50	0.03	1,155	-4.0	779	-9.8	37.3	28.1	56.3	36.4	
6月	2.21	0.13	1.49	-0.03	1,171	1.9	717	-8.5	-	-	-	-	
7月	1.99	-0.08	1.47	-0.04	1,278	8.9	794	-4.2	-	-	-	-	
8月	2.25	-0.08	1.47	-0.07	1,229	-0.3	916	-0.5	39.5	30.8	43.8	38.1	
9月	2.06	-0.23	1.47	-0.12	1,181	6.1	775	-0.9	-	-	-	-	
10月	2.22	0.15	1.52	-0.10	1,143	2.6	818	3.0	-	-	-	-	
11月	2.50	-0.06	1.71	0.04	1,166	17.8	803	1.1	37.8	42.3	25.0	38.1	
12月	2.63	-0.35	1.78	-0.01	1,191	21.3	787	1.5	-	-	-	-	
令和2年1月	2.13	-0.04	1.75	-0.02	1,246	22.8	740	2.8	-	-	-	-	
2月	2.13	-0.22	1.65	-0.13	1,107	17.5	690	4.6	29.6	40.4	25.0	31.5	
3月	2.21	-0.11	1.53	-0.23	1,217	28.4	689	-13.5	-	-	-	-	
4月	1.40	-0.19	1.40	-0.14	1,161	9.5	488	-35.2	-	-	-	-	
5月	1.95	-0.11	1.34	-0.16	1,162	0.6	450	-42.3	40.0	43.3	57.1	42.2	
6月	1.81	-0.40	1.25	-0.24	1,507	28.7	593	-17.3	-	-	-	-	
7月	1.83	-0.16	1.27	-0.20	1,564	22.4	671	-15.5	-	-	-	-	
8月	1.83	-0.42	1.23	-0.24	1,514	23.2	691	-24.6	42.0	31.7	33.3	39.2	
9月	2.12	0.06	1.22	-0.25	1,480	25.3	679	-12.4	-	-	-	-	
出典：	ハローワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業創出課（H30.1調査開始）景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。				

## 2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和2年第三四半期（7～9月）の状況）

### （1） C I（コンポジット・インデックス）

#### ① 概要

9月のCIは、先行指数が76.6、一致指数が64.0、遅行指数が59.6となった。

#### ② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】 9月は76.6ポイントで、4ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、新規求人倍率（4ヵ月振り）、自動車新規登録台数（4ヵ月連続）等の5指標、マイナスの指標は、いわき市中小企業融資残高（2ヵ月振り）、建築確認申請受付件数（4ヵ月振り）等の3指標であった。

【一致指数】 9月は64.0ポイントで、2ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、高速道路出入交通量（2ヵ月振り）、鉱工業生産指数（2ヵ月振り）等の5指標、マイナスの指標は、有効求人倍率（2ヵ月連続）、大型小売店等販売額（2ヵ月振り）等の3指標であった。

【遅行指数】 9月は59.6ポイントで、2ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、観光施設利用者指数（2ヵ月振り）、いわき市中小企業融資利率（2ヵ月振り）等の5指標、マイナスの指標は、いわき市中央卸売市場取扱高（2ヵ月連続）、公共工事受注額（2ヵ月連続）等の3指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

#### ③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年=100）

区 分	令和元年			令和2年									
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
先行指数（C I）	81.3	82.4	80.8	83.0	79.9	80.4	75.8	72.2	74.4	74.4	75.0	76.6	
前月差(ポイント)（寄与度合計）	-6.60	1.06	-1.62	2.20	-3.04	0.53	-4.69	-3.54	2.21	0.02	0.58	1.59	
先行系列寄与度内訳	1. 自動車新規登録台数	-2.86	2.66	-2.73	-2.76	-0.85	0.58	-1.65	-2.41	2.58	2.03	0.27	0.73
	2. 新設住宅着工戸数	-1.84	-2.58	2.83	2.84	1.95	-2.25	-0.40	-1.83	2.53	-1.21	0.27	0.18
	3. 建築確認申請受付件数	-2.44	0.68	1.65	0.75	-1.11	-0.31	0.65	-0.50	0.88	0.45	1.00	-0.55
	4. 鉱工業在庫率指数（逆）	1.54	-1.78	-0.95	0.37	-0.38	0.19	-0.42	-0.52	0.34	0.21	-0.05	0.36
	5. 新規求人倍率	1.95	-0.58	-1.34	1.10	-1.01	2.70	-2.67	1.96	-1.78	-0.06	-0.89	2.56
	6. いわき市中小企業融資残高	-2.80	2.71	-1.02	0.02	0.09	-0.39	-0.14	-0.20	-2.27	-1.37	0.09	-1.60
	7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	0.05	0.06	0.04	0.04	-1.64	0.10	0.10	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08
	8. 一致指数トレンド成分	-0.20	-0.11	-0.10	-0.16	-0.09	-0.09	-0.16	-0.14	-0.16	-0.13	-0.19	-0.17
一致指数（C I）	70.7	73.7	74.1	74.2	71.9	69.9	66.2	66.1	65.4	68.2	62.1	64.0	
前月差(ポイント)（寄与度合計）	-2.45	3.00	0.33	0.16	-2.27	-2.07	-3.72	-0.05	-0.70	2.81	-6.09	1.83	
一致系列寄与度内訳	1. 大型小売店等販売額	-0.61	0.91	-0.54	0.10	1.67	-0.64	0.08	0.36	0.05	-0.06	0.11	-0.76
	2. 鉱工業生産指数	-1.53	-0.07	0.51	0.56	-1.30	1.22	-1.45	0.53	0.40	0.87	-1.59	1.19
	3. 鉱工業出荷指数	-0.60	-0.64	0.42	0.18	-0.35	0.38	-0.90	0.09	-0.25	1.63	-1.37	0.37
	4. 鉱工業在庫指数	-0.07	0.01	-0.08	-0.16	-0.35	-0.14	0.12	0.41	0.53	-0.68	-0.55	-0.44
	5. 小名浜港輸出入通関実績	-0.83	1.38	-0.76	-0.65	0.49	0.20	0.04	0.32	-0.45	0.18	-0.25	0.38
	6. 有効求人倍率	0.55	1.72	-0.73	-0.19	-1.74	0.26	-0.08	-0.29	-1.51	0.08	-0.97	-0.74
	7. 高速道路出入交通量	0.65	-0.30	-0.23	0.33	-0.70	-1.61	-1.53	-1.46	1.74	0.81	-1.45	1.67
	8. 中小企業DI（全業種）	-0.01	-0.01	1.75	0.00	0.00	-1.74	-0.01	-0.01	-1.20	-0.01	-0.01	0.16
遅行指数（C I）	60.4	61.4	60.2	61.6	60.7	57.7	54.6	53.8	54.1	58.4	57.4	59.6	
前月差(ポイント)（寄与度合計）	-0.28	0.98	-1.21	1.39	-0.87	-3.02	-3.05	-0.84	0.25	4.31	-1.02	2.26	
遅行系列寄与度内訳	1. 公共工事受注額	0.01	0.19	-0.33	-0.90	0.21	-1.46	-0.17	0.35	0.77	0.22	-0.08	-0.34
	2. 入湯税調定人員	0.01	-0.34	0.04	0.45	0.36	-0.98	-1.29	-1.23	-1.20	1.42	1.42	0.29
	3. 観光施設利用者指数	-1.24	0.88	0.69	1.02	-0.70	-1.35	-1.27	-1.19	1.36	1.40	-1.30	1.47
	4. 法人市民税調定額	0.19	-0.24	1.43	-1.45	0.75	0.22	-0.02	-0.42	0.29	0.35	-0.55	0.62
	5. 雇用保険受給者実人員（逆）	0.47	-1.47	-0.36	-0.55	1.44	-1.39	1.13	0.46	-1.27	0.01	-0.02	0.12
	6. いわき市中央卸売市場取扱高	-0.42	1.49	-1.39	1.50	-1.39	1.45	-1.29	1.34	0.43	1.02	-0.33	-0.57
	7. いわき市中小企業融資利率	0.85	0.56	-1.22	1.44	-1.46	0.55	-0.02	-0.05	0.00	0.00	-0.00	0.80
	8. 一致指数トレンド成分	-0.15	-0.08	-0.07	-0.12	-0.06	-0.06	-0.12	-0.10	-0.12	-0.09	-0.15	-0.13

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

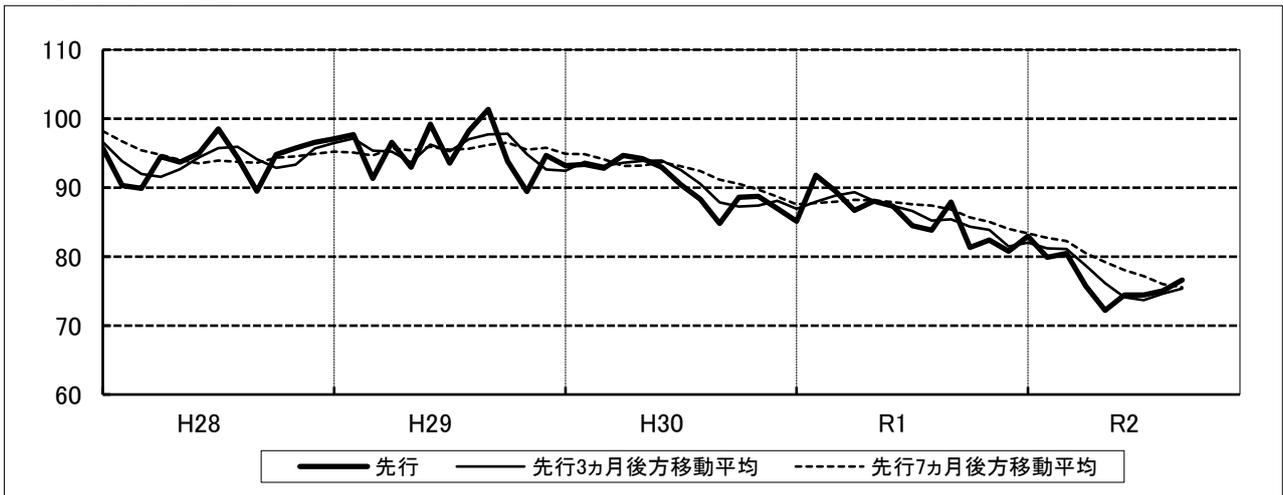
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

#### ④ CIの推移

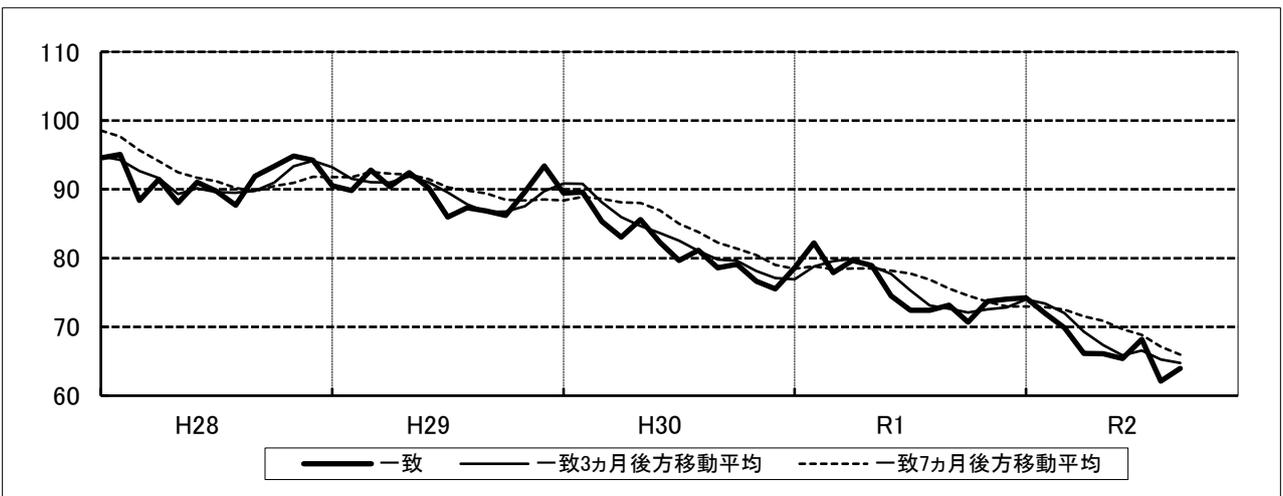
##### ・先行指数の推移

(平成27年=100)



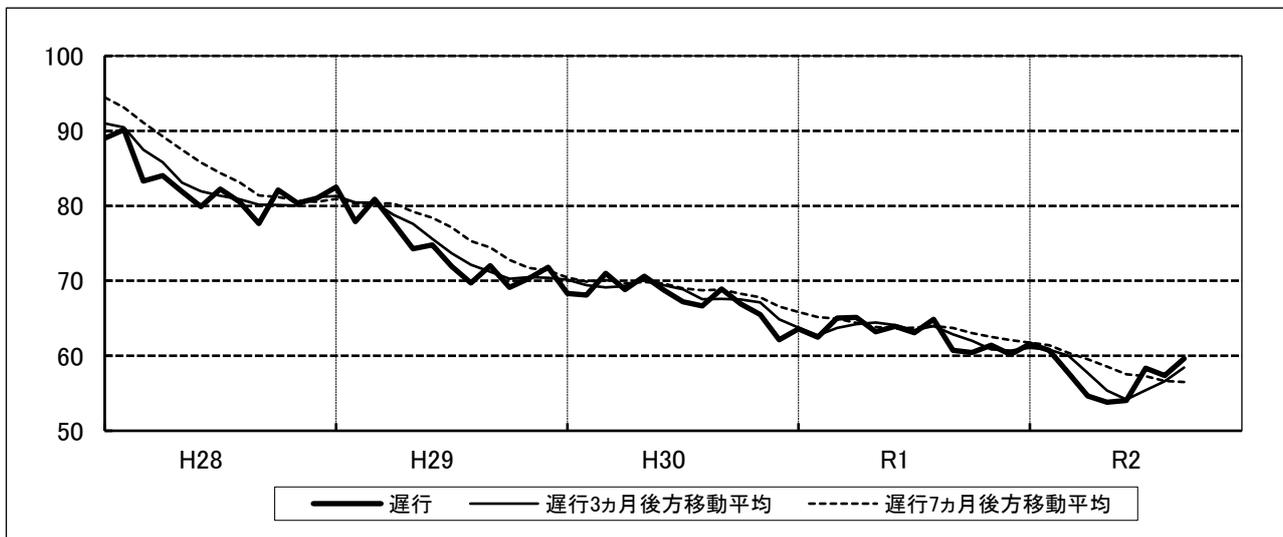
##### ・一致指数の動向

(平成27年=100)



##### ・遅行指数の動向

(平成27年=100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
23	50.0	53.1	45.7	40.1	46.3	51.1	63.5	75.3	73.9	79.1	86.9	79.0
24	102.4	103.4	97.0	115.5	117.9	122.9	117.4	106.9	100.4	107.8	102.5	105.0
25	106.2	110.1	115.8	110.5	117.4	118.3	127.2	127.2	118.9	118.5	130.4	121.2
26	121.3	131.7	123.7	102.9	113.5	113.6	114.2	112.9	112.6	111.9	105.5	110.3
27	109.7	99.1	105.8	98.3	96.0	99.4	100.9	98.8	99.0	98.9	98.7	95.4
28	95.7	90.3	89.9	94.5	93.7	95.0	98.5	94.3	89.5	94.8	95.7	96.6
29	97.1	97.7	91.4	96.6	93.0	99.2	93.6	98.3	101.3	93.8	89.4	94.7
30	93.2	93.4	92.8	94.7	94.2	93.0	90.4	88.3	84.8	88.6	88.7	87.0
1	85.1	91.8	89.5	86.7	88.1	87.3	84.5	83.9	87.9	81.3	82.4	80.8
2	83.0	79.9	80.4	75.8	72.2	74.4	74.4	75.0	76.6			

・一致指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
23	63.6	63.8	56.9	58.3	59.0	63.1	69.7	65.1	77.3	77.7	77.6	83.4
24	86.9	92.4	105.5	98.9	96.5	93.3	93.4	97.8	97.3	100.8	105.9	105.2
25	104.9	107.4	109.1	106.9	106.4	102.6	105.4	108.8	104.0	102.9	104.7	105.7
26	104.1	101.0	108.1	101.3	105.7	105.9	104.8	107.2	105.6	103.9	101.3	101.5
27	102.1	100.8	99.3	102.3	100.8	99.3	101.2	102.4	102.4	99.5	96.6	93.3
28	94.6	95.1	88.4	91.4	88.0	91.0	89.8	87.7	91.9	93.3	94.9	94.2
29	90.5	89.8	92.8	90.4	92.4	90.3	86.0	87.3	86.9	86.2	89.7	93.4
30	89.4	89.6	85.3	83.1	85.6	82.3	79.7	81.2	78.6	79.1	76.6	75.5
1	78.6	82.2	77.9	79.6	78.9	74.5	72.4	72.4	73.2	70.7	73.7	74.1
2	74.2	71.9	69.9	66.2	66.1	65.4	68.2	62.1	64.0			

・遅行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
23	55.2	58.1	57.4	52.9	51.2	55.2	58.9	51.9	53.1	51.0	56.6	60.9
24	63.8	68.4	73.9	79.1	88.8	91.8	92.0	94.7	98.2	105.8	105.9	110.5
25	109.2	108.9	106.5	112.3	113.9	108.3	109.9	110.5	107.5	107.8	113.7	109.8
26	113.8	112.2	112.2	110.7	109.2	108.7	108.1	108.3	104.6	106.9	103.7	102.0
27	105.5	105.3	108.5	104.4	103.9	100.2	99.8	97.1	97.0	94.3	91.8	92.1
28	89.0	90.2	83.3	84.0	81.9	79.9	82.3	80.5	77.7	82.1	80.4	81.0
29	82.5	77.9	80.9	77.7	74.3	74.8	71.9	69.7	72.0	69.1	70.3	71.8
30	68.3	68.1	71.0	68.8	70.6	68.8	67.2	66.7	68.9	66.9	65.5	62.1
1	63.6	62.5	65.0	65.1	63.2	63.9	63.1	64.9	60.7	60.4	61.4	60.2
2	61.6	60.7	57.7	54.6	53.8	54.1	58.4	57.4	59.6			

(2) DI (デフレーション・インデックス)

① 概要

【先行指数】 9月は、64.3%と3ヵ月連続で50%を上回った。

【一致指数】 9月は、50.0%と2ヵ月連続で保ち合いとなった。

【遅行指数】 9月は、85.7%と3ヵ月連続で50%を上回った。

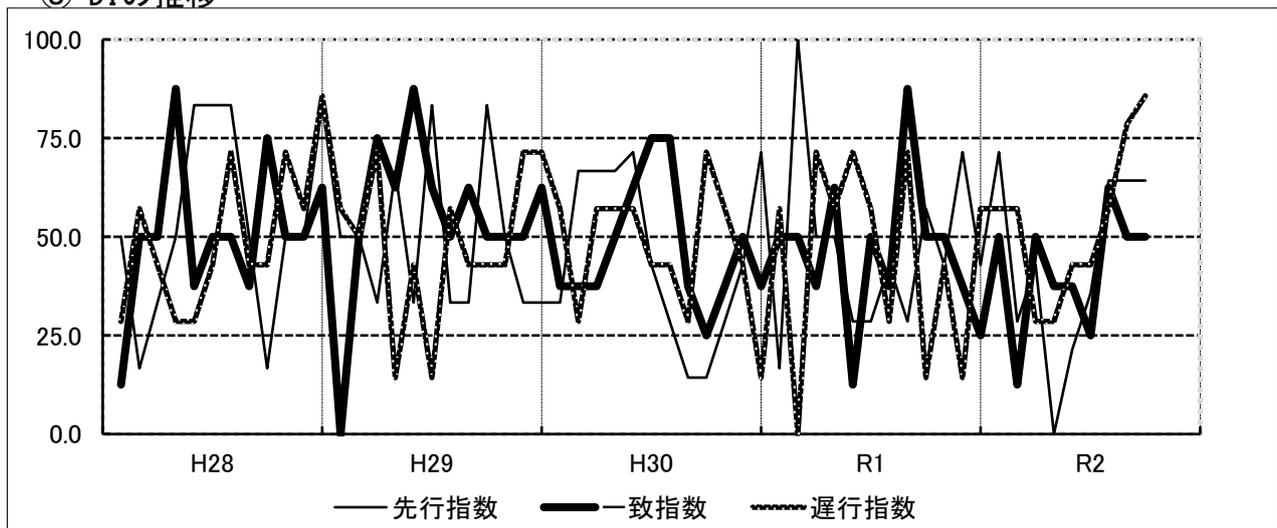
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (-景気動向指数利用の手引き-参照)

② DIの推移

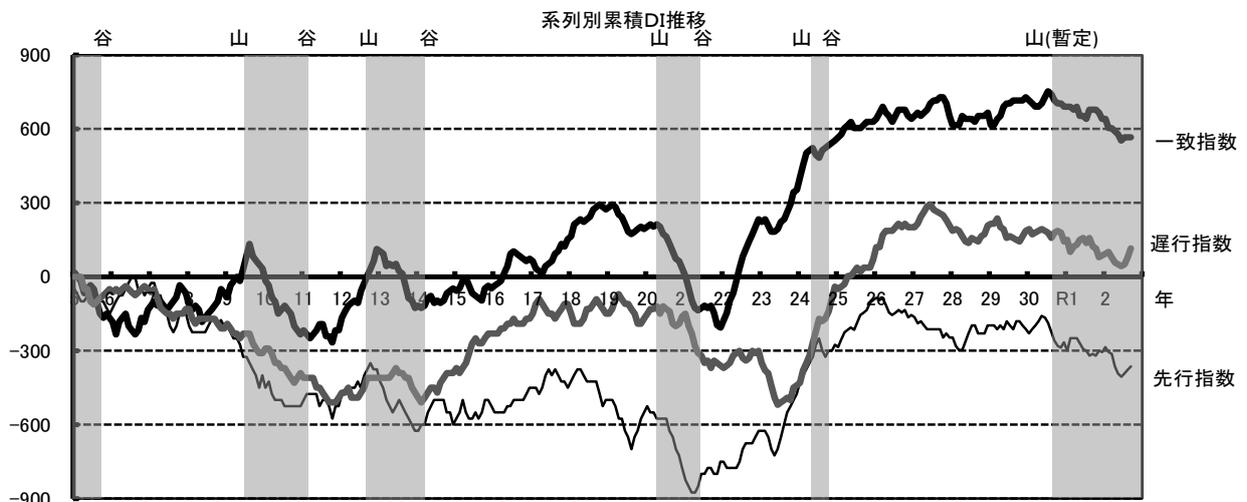
区 分	令和元年			令和2年								
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
先行指数 (D . I)	42.9	71.4	42.9	71.4	28.6	42.9	0.0	21.4	35.7	64.3	64.3	64.3
一致指数 (D . I)	50.0	37.5	25.0	50.0	12.5	50.0	37.5	37.5	25.0	62.5	50.0	50.0
遅行指数 (D . I)	42.9	14.3	57.1	57.1	57.1	28.6	28.6	42.9	42.9	57.1	78.6	85.7

注)DIは、先行(7指標)、一致(8指標)、遅行(7指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気の方角性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) 影の部分は国における景気後退期を示す。

## -景気動向指数利用の手引き-

### (1) 景気動向指数の概要

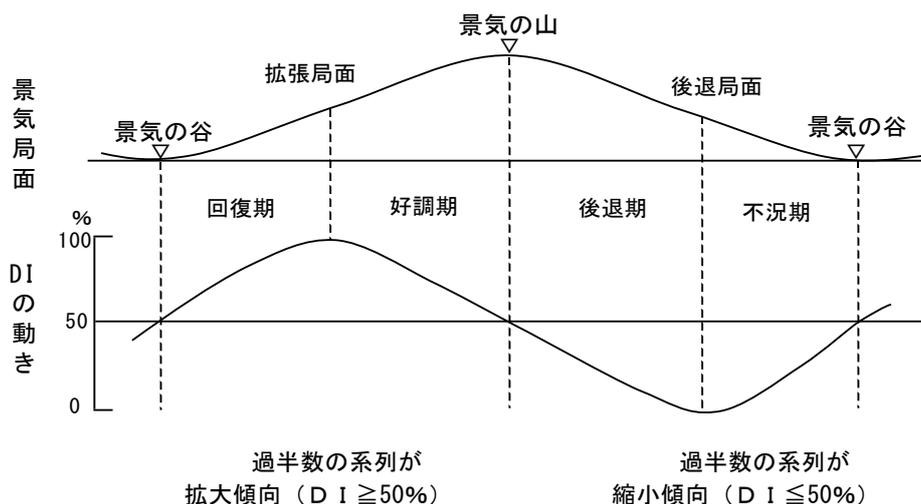
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方方向性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

### (2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等8つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ [http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu\\_di.html](http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.html)を参照）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

### (3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では8つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば  $3 \div 8 = 0.375$  (DI=37.5%)と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときが景気の拡張局面、50%を下回っているときが後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



### (4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S 26. 6.	S 26. 10.	第9循環	S 52. 10.	S 55. 2.	S 58. 2.
第2循環	S 26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10(暫定)	

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項 目		内 容		原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワークいわき
	6 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業創出課
一致系列	1 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業創出課
	2 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	3 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	4 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	5 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通過して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	6 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワークいわき
	7 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
	8 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合-減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
遅行系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	3 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第I四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業創出課
	4 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	5 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワークいわき
	6 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	7 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課

注) 季：X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前：原数値の前年同月比、原：(四半期)原数値、移：12ヵ月移動平均  
逆：景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

## 【参考】 国・県の動き

### 1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断)</p> <p>景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費は、持ち直している。</li> <li>・設備投資は、このところ減少している。</li> <li>・輸出は、持ち直している。</li> <li>・生産は、持ち直している。</li> <li>・企業収益は、大企業では一部に減少幅の縮小がみられるものの、全体としては、感染症の影響により、大幅な減少が続いている。企業の業況判断は、厳しさは残るものの、改善の動きがみられる。</li> <li>・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。</li> <li>・消費者物価は、横ばいとなっている。</li> </ul> <p>先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が内外経済を振れさせるリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p> <p>(内閣府「月例経済報告」令和2年11月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費……一部に弱い動きがみられるものの、総じて堅調に推移している。</li> <li>・建設需要……高水準にあるものの、一部に弱い動きがみられる。</li> <li>・生産活動……一進一退の状況が続いている。</li> <li>・雇用・労働……厳しい状況にある。</li> <li>・物 価……企業物価指数は前年を下回り、消費者物価指数は前年を上回っている。</li> <li>・企業・金融……企業倒産件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。</li> </ul> <p>(福島県「最近の県経済動向」令和2年11月公表分)</p>

### 2 景気動向指数(CI)

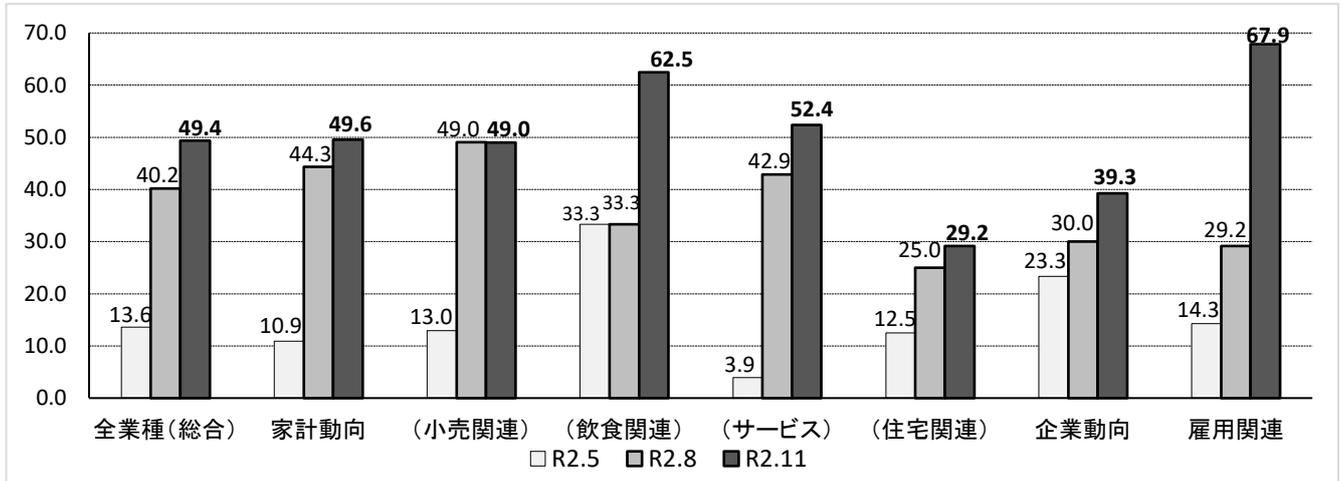
(1) 国の動向	<p>9月のCI(速報値・平成27(2015)年=100)は、先行指数:92.9、一致指数:80.8、遅行指数:92.2となった。</p> <p>先行指数は、前月と比較して4.4ポイント上昇し、4ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は3.00ポイント上昇し、3ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.24ポイント上昇し、33ヵ月ぶりの上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月と比較して1.4ポイント上昇し、4ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は2.06ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は1.93ポイント下降し、23ヵ月連続の下降となった。</p> <p>遅行指数は、前月と比較して0.9ポイント上昇し、3ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.30ポイント下降し、13ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は1.26ポイント下降し、14ヵ月連続の下降となった。</p> <p>(内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和2年11月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>1 概 括</p> <p>9月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数78.1ポイント、一致指数47.0ポイント、遅行指数93.8ポイントとなった。</p> <p>先行指数は、前月(74.0ポイント)を4.1ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月(46.6ポイント)を0.4ポイント上回り、2ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月(94.3ポイント)を0.5ポイント下回り、3ヵ月連続の下降となった。</p> <p>2 一致指数の動向</p> <p>寄与度をみると、生産財出荷指数、所定外労働時間指数が4ヵ月連続のプラス、鉱工業生産指数、最終需要財出荷指数が2ヵ月振りのプラス、雇用保険受給者実人員が4ヵ月振りのプラスとなった。</p> <p>一方、有効求人倍率が10ヵ月連続のマイナス、建築着工床面積(鉱工業)、手形交換金額(1枚当たり)、百貨店・スーパー販売額が2ヵ月振りのマイナスとなった。</p> <p>内訳をみると、最終需要財出荷指数がプラス1.30ポイント、鉱工業生産指数がプラス1.24ポイント、雇用保険受給者実人員がプラス0.47ポイント、所定外労働時間指数がプラス0.34ポイント、生産財出荷指数がプラス0.25ポイントでこれらの指標の動きが上昇に寄与した。</p> <p>(福島県「福島県景気動向指数」令和2年11月公表分)</p>

## II いわき市景気ウォッチャー調査：令和2年11月時点

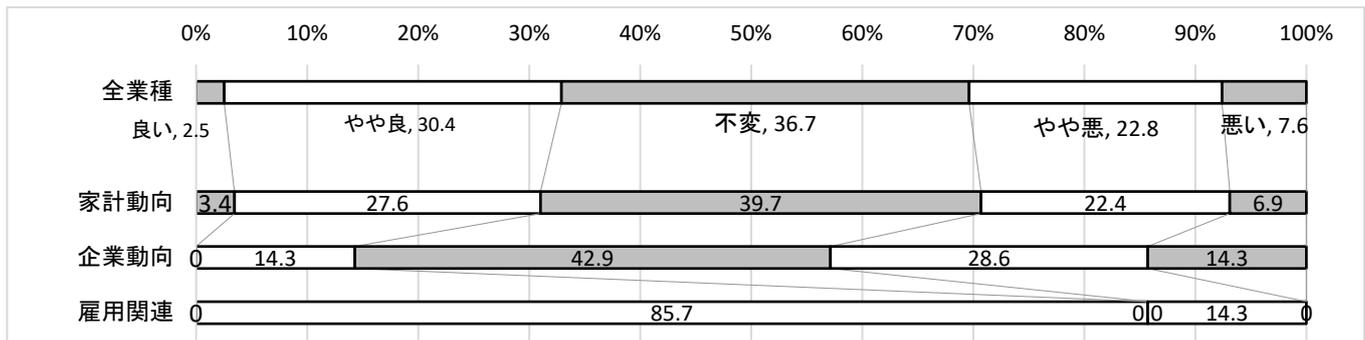
### 1 景気の現状について

#### (1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは49.4と、前回より9.2ポイントの上昇となった。家計動向、企業動向、雇用関連のすべての業種で上昇した。
- 主要業種別では、家計動向関連が49.6と前回より5.2ポイント上昇した。家計のうち飲食が特に大きく上昇した。企業動向関連は39.3と9.3ポイント上昇し、雇用関連は67.9と38.7ポイント上昇した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3カ月前と比べて「良くなっている」は2.5%、「やや良くなっている」が30.4%、「変わらない」が36.7%、「やや悪くなっている」が22.8%、「悪くなっている」が7.6%となった。



#### (2) 現状判断の理由

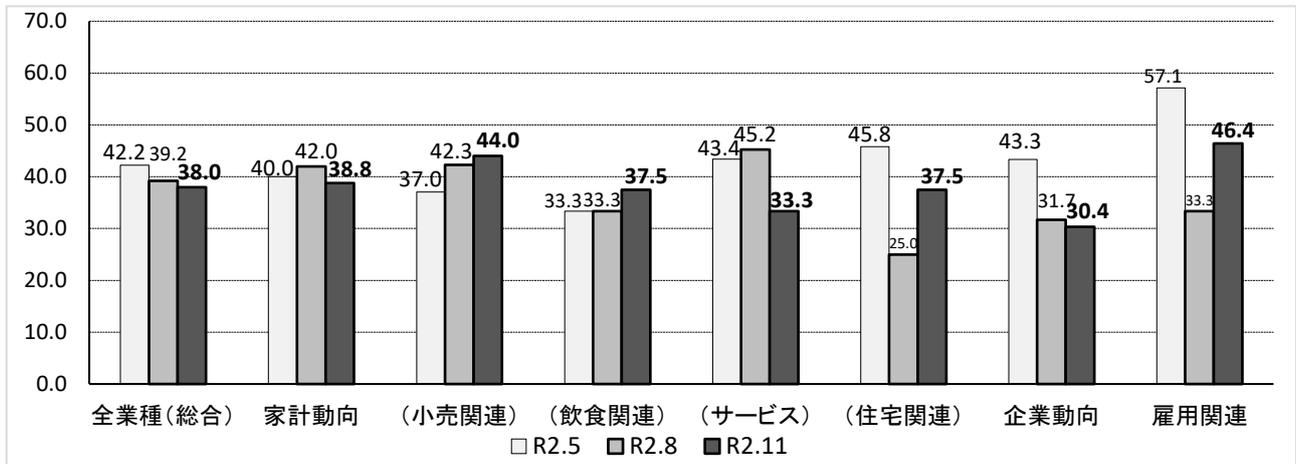
現状判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)					項目(企業)					項目(雇用)				
	良い	不変	悪い	合計		良い	不変	悪い	合計		良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	13	10	6	29	1. 受注量や販売量	1	3	4	8	1. 求人数の動き	1	0	1	2
2. 販売量の動き	3	8	4	15	2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0	2. 求職者数の動き	0	0	0	0
3. 単価の動き	0	1	0	1	3. 取引先の様子	1	3	1	5	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	2	3	6	11	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	4	0	0	4
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	1	1	5. その他	1	0	0	1
6. その他	0	1	1	2										
合計	18	23	17	58	合計	2	6	6	14	合計	6	0	1	7

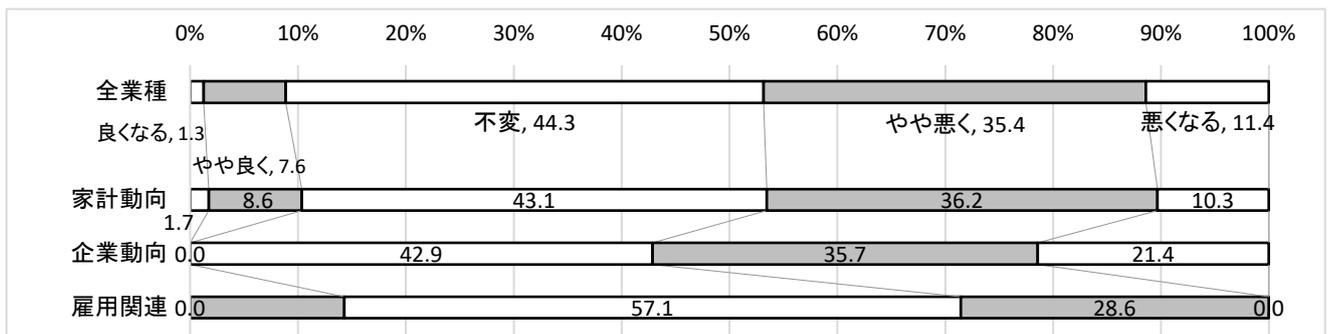
## 2 景気の先行きについて

### (1) 先行き判断DI

- 全業種（総合）の先行き判断DIは38.0と、前回より1.2ポイントの低下となった。雇用関連は上昇したものの、家計動向、企業動向が低下した。
- 主要業種別では、家計動向関連が38.8と前回より3.2ポイント低下した。家計のうち住宅、飲食、小売が上昇したものの、サービスが大きく低下した。企業動向関連は30.4と1.3ポイント低下し、雇用関連は46.4と13.1ポイント上昇した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、2～3ヵ月先には「良くなる」は1.3%であり、「やや良くなる」が7.6%、「変わらない」が44.3%、「やや悪くなっている」が35.4%、「悪くなっている」が11.4%となった。



### (2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向関連では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)					項目(企業)					項目(雇用)				
	良い	不変	悪い	合計		良い	不変	悪い	合計		良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	4	8	13	25	1. 受注量や販売量	0	3	2	5	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	1	7	3	11	2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0	2. 求職者数の動き	0	1	1	2
3. 単価の動き	0	0	0	0	3. 取引先の様子	0	3	3	6	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	9	7	16	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	1	2	0	3
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	3	3	5. その他	0	1	1	2
6. その他	1	1	4	6										
合計	6	25	27	58	合計	0	6	8	14	合計	1	4	2	7

### 3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。  
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。  
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

#### (新型コロナウイルスの影響等について)

- GO TOで一時期は人が動いていたような気がする(気のゆるみ)。コロナの収束状況が不透明だと、また気持ちが落ちるかと思う。
- 駅前商店街のお店の減少も数年前から進んでいる中、コロナの影響も大きく受けている。
- 求職者数が想定よりも少ないと感じている。人材不足業種と求職者とのマッチングを図ることが重要である。
- 経済が上向いたところに東京でコロナの影響が出てしまい、すぐではないが、時間差でいわきにも影響が出てしまうのではと思う。
- これまではGO TOもあって上向き気味だったが、コロナ第3波と国の見直しで予約キャンセルが続いており、宿泊とそれに付帯する業界(飲食、小売)で影響が出ると思う。
- コロナ禍の影響が景気を左右する現状、コロナのトンネルの先はまだ見えず!!
- コロナの影響がまだまだある。
- コロナ禍の中、お客さまの消費マインドは益々低下していると肌で感じる。SC内の店舗(特に個人経営)も、継続が困難になって来ているところが散見される。
- 催事という催事が中止になり、静かな街が寂しい街である。
- 自粛モードで忘・新宴会を控えていると耳にするので、かき入れ時も期待できない。
- 全面中止となったイベントが小規模ながら再開してきている。
- 新型コロナウイルスの第3波が起きる中、企業活動や、年末に向けた個人消費行動が飲食店・観光業を中心にどの程度影響を及ぼすか懸念される。

#### (政策・公的支援策等について)

- 大手企業の給与カット等で地方の企業にも影響が及ぶだろうから、今後も安心コロナお知らせシステムのような需要喚起策に期待したい。
- 買い物状況、食事の利用が、今はGO TOキャンペーンの影響で回復しているが、この経済対策がなくなった時に、マイナスの反動が怖いところがある。
- 現在はGO TOトラベル、県民割り、市民割り、地域共通クーポン等々の施策で、何とか経営を存続できている。9割以上が依存している。これらが終了したときの反動による影響が大きい。併せて、無金利無担保の借入金返済が始まると一気に厳しくなる。それまでに、いろいろ模索しながらプランを造成し、その中から人気の高単価高品質のOnly Oneのプランを見だし、これらの施策で割安に利用していただき、割引終了後もリピーターとなっていただくことを目標としている。
- 第三波の感染が危惧されている中、経済活性にも励まなければならない状況である。今後の景気回復を見据えた、市内宴会場等への助成金等の実施をお願いしたい。

#### (今後の見通し等について)

- 現状維持するしかない状況だ。
- 諦めないで前進するのみ。
- コロナ第3波のなか、客層が中高年という注意が必要な年代であることもあり、今後の景況も見通せない。
- 大きな落ち込みは感じないが所帯収入の動向によっては、防衛本能の先行により予想以上の悪化も考えられる。
- コロナの影響により、この先景気が良くなるかは予想がつかない。
- コロナ禍の影響で買い控えが感じられる。お出かけする機会が減り衣料関連の販売不振がさらに予想される。
- 年末にかけて取引先の受注、販売量が増えることを期待している。
- レジャー産業においては、GO TOキャンペーンにより宿泊者数や販売金額も増えている。2~3ヶ月後も、このまま推移すると思われるが、感染拡大が進むと影響があるかもしれないので、先々の見通しは難しいと思われる。
- 景気に関しては、良くなる要素が全くない。コロナ対策で弱小は資本金力を消耗し、支出が上回る。効率も悪く、業績が回復する起爆剤がない現状では、倒産及び廃業が増えてくると思う。時代環境の変化もあり、流れを読み切ることは難しい。いままでの経験や常識が役に立ちにくい経営環境に変化してゆくだろう。どれだけ時代の波を泳いでゆけるか、柔軟な発想と大胆な意識改革が持続へのターニングポイントになってくると感じている。
- 取引先の状況悪化により、「仕事をしても報酬をいただけない」ということが今後起こるのではないかと考えている。

## - いわき市景気ウォッチャー調査の概要 -

### (1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

### (2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連79人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計110人を調査客体とする。今回（令和2年11月）の調査の回答数は79人（有効回答率71.8%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	79人	72%	58人	
小売関連	36人	33%	25人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	9人	8%	6人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	26人	24%	21人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	8人	7%	6人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	14人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	7人	人材派遣、職業紹介等
合計	110人	100%	79人	

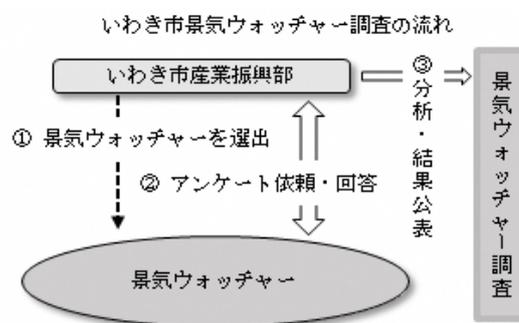
### (3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

### (4) 調査方法

いわき市産業創出課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業創出課と外部調査機関（株）社会システムプランニングが協力して行う。調査結果は、産業創出課が原則として調査の翌月に公表する。



### (5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることにより D I を算出する。

D I は50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3カ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3カ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0





---

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業創出課  
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地  
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 1 1 2 6 (直通)  
e-mail : [sangyosoushutsu@city.iwaki.lg.jp](mailto:sangyosoushutsu@city.iwaki.lg.jp)

---